

広報紙

# 秀友便り

ホームページ

<https://www.shuyukai.or.jp/>



発行：医療法人秀友会 札幌秀友会病院  
住所：札幌市手稲区新発寒 5 条 6 丁目 2-1  
電話：011-685-3333

Instagram



Facebook



LINE



## 札幌秀友会病院からのお便り



### 嚥下内視鏡検査開始のお知らせ

当院では、「嚥下障害（飲み込みにくさ）」がある方に、これまで嚥下造影検査（バリウムを混ぜた飲み物・食べ物を摂取する場面をレントゲンで撮影し評価する検査）を行っていましたが、令和 8 年 9 月より「嚥下内視鏡検査」という細い内視鏡を鼻の穴から入れ、喉の動きや飲み込みの様子を観察する検査を開始いたしました。

この検査のメリットとして、“①被曝がない。②バリウムを使用しないため、食べ物の味が変わらない。③患者さんがベッドで寝たまま検査ができる。”というものがあります。デメリットは、“①鼻の穴から内視鏡を入れるため違和感がある。②飲み込みの瞬間が見えないことがある。”などです。

当院では写真 A のようなポータブルマルチスコープを使用しており、スコープ最大径が 2.4mm と細く、写真 B・C のモデル：石川総務課長からは「思ったよりも痛くなかったです。」という感想をもらいました。

同検査はリハビリテーション科と歯科が共同で行います。また、現在は入院患者さんを対象に検査しておりますが、飲み込みの悪さが気になる方は、ぜひ一度ご相談ください。〈文責：新明・澤田〉



写真 A

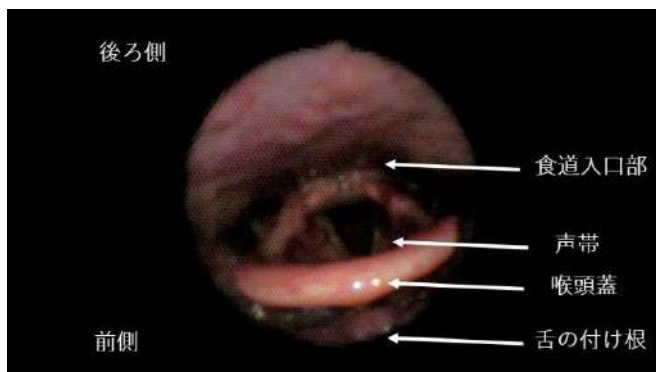


写真 B

息を吸っているところ（声帯が V の字に開いています）

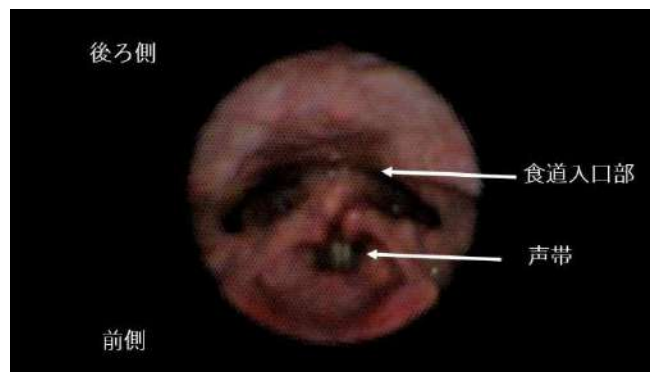


写真 C

声を出しているところ（声帯が閉じます）



写真 D

ご飯を飲み込もうとしているところ

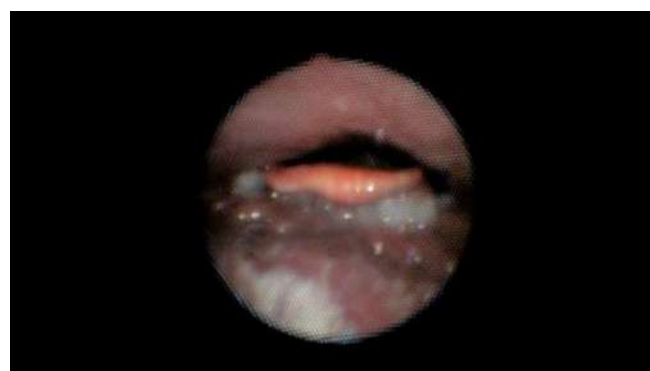


写真 E

ご飯を 1 回飲み込んだ後ですが、まだ喉に残っています

## 「夏祭り」を開催しました

当院では、患者さんに夏の楽しいひとときをお過ごしいただくため、令和 8 年 8 月 20 日に院内で夏祭りを開催しました。

会場には、職員がこの日のために準備した夏祭りらしい飾り付けやヨーヨー釣り、射的などのコーナーが設けられ、参加された皆さまの笑顔と歓声で大いに盛り上がりました。

今後も患者さんに季節を感じていただける行事を企画し、心温まる時間を提供してまいります。〈文責：澤田〉





## 看護部 特派員からの便利



### 第 8 回 日本在宅医療連合学会大会に参加してきました。

2026 年 7 月 4 日・5 日の 2 日間、札幌で「第 8 回 日本在宅医療連合学会大会」が開催されました。この学会は、年に 1 度行われており、近年関心がより高まっている在宅医療について多くの職種が集まる機会でもあります。

当院からは、わたなべ はるか 渡邊 悠 看護師が、人生の最終段階を迎える患者さんの療養場所をテーマに講演を行いました。講演では病院や施設、自宅など人生の最終段階を過ごす様々な場面を紹介。当院の実践事例として、入院中に余命宣告を受けた患者さんが「家に帰ろう」という家族の言葉を機に在宅療養を選択し、訪問診療や訪問看護などの支援を受けながら自宅で過ごした事例を紹介しました。また、本人がどのような医療やケアを望み、どこで過ごしたいのかを元気なうちに家族や医療・介護関係者と話し合っておくことの大切さも伝えました。

患者さん一人一人が大切にしていることや希望は異なります。病院での治療だけではなく、退院後の生活やその人らしい人生を見据えて支援することも、看護師の大切な役割です。

当院看護部では、今後も患者さん・ご家族の思いに寄り添い、多職種や地域の医療・介護関係者と連携しながら、その人らしい療養生活を支える看護を実践してまいります。〈文責：森田〉



## 診療放射線科 特派員からの便利



### レントゲン検査の服装、AI に聞いてみました

「レントゲン検査には、どんな服装で行けばいい？」そう疑問に思ったことはありませんか？検査の度に着替えるのは、結構大変です。「事前に分かっていたら、こんなに着てこなかったのに」ということもあるでしょう。そこで今回は、レントゲン検査の予定があるときはどんな服装で行けばいいのか、生成 AI（人工知能）の「Claude<sup>クロード</sup>」に聞いてみました。ただの AI ではありません。2026 年 6 月に登場した最上位モデル「Fable<sup>フェーブル</sup> 5」です。公開から 3 日で米国政府の輸出規制対象となり、日本からも一時的に使えなくなっただわくつきのモデルです。そこで得た AI の回答がこちらです。

#### ■【AI 回答結果】

検索した結果をまとめますね。これから向かわれるとのことなので、ポイントを簡潔に伝えます。

### 《おすすめの服装》

薄手でゆったりした無地の T シャツがベストで、色や袖丈に制限はありません。綿素材がおすすめです。下は、ボタン、ホック、ファスナーなどのプラスチックや金属がなく、ウエストがゴムのズボンが理想的です。また、すぐに脱げる上着を羽織っていくと、着脱がスムーズです。

### 《避けたほうがよいもの》

ボタン・刺繍・金具・プリントのついた T シャツ、ワンピース、脱ぎにくい靴は撮影に適しません。厚手のニットも X 線の妨げになるため、避けましょう。

### 《外しておくもの》

金属やプラスチックのついた下着（ブラジャーやキャミソール）のほか、ネックレスなどのアクセサリー類、ヘアピン、湿布も画像に写り込むため、外す必要があります。カイロも忘れずに。なお、ボタンや金具などがついている服で行っても、検査着が用意されている医療機関がほとんどなので、心配しすぎなくて大丈夫です。適した服装で行けば、着替えの手間が省けて、検査がスムーズに進みますよ。お気をつけて行ってらっしゃいませ。

---

放射線技師として答え合わせをしてみるとほぼ正解です。最上位モデルの割にあっさりした答えだとも思いましたが、長々と書かれても困るので、これくらいがちょうどよいのかもしれません。

その上で、現場から補足します。まず、湿布は回答にありましたが、意外と忘れやすいのがエレキバンです。たいてい撮影部位に重なってしまいますので、撮影時には外していただくことになります。ただ、検査室で剥がせば済みますので、貼ったまま来ていただいて構いません。次に、T シャツのプリントです。色や柄は撮影にまったく影響しません。黒でも、ボーダーでも大丈夫です。写ってしまうのは、表面が盛り上がったラバープリントや、刺繍のように「厚みのあるもの」です。指でなぞって、凹凸があるかどうかを目安にしてください。そして、もうひとつ。着替えていただくかどうかは、撮影部位によって変わります。胸の写真では、上に着ているものに金具やホックがあれば、検査着に着替えていただきますが、ズボンはそのまま結構です。女性の場合、カップ付きインナー（ブラトップ）であれば、そのまま撮影できることが多いです。逆に、腰や股関節の写真では、上はそのまま、ズボンのボタンやベルトが着替えの対象になります。手の写真は指輪や時計を外していただく程度です。つまり、撮影する部位や範囲によって、着替えるものも外すものも変わってくるわけです。診察の結果次第では、事前には分からないことも多いでしょう。着替え

が必要かどうかは、検査室で私たちが確認・判断してお伝えしますのでご安心ください。

尚、Fable 5 からこの回答を得るのは有料でしたが、私たち放射線技師に聞いていただければもちろん無料です。服装以外でも気になることがあれば何でも気軽に聞いてください。〈文責：名雲〉



## リハビリテーション科 特派員からのお便り



### 当院のスタッフ こんなところでも活躍しています

2026 年 6 月より、当院の中村 千晶 理学療法士が、週 1 回の業務委託という形で、さっぽろ泌尿器科クリニック 小児・女性泌尿器科にて「骨盤底リハビリテーション」を担当しています。骨盤底筋群は、膀胱や子宮、直腸などの臓器を支えるとともに、排尿や排便などにも関わる重要な筋肉です。骨盤底の機能が低下すると、尿漏れや頻尿、骨盤臓器脱などの症状につながることがあります。こうした症状は、身体的な負担だけでなく、外出や仕事、趣味などの日常生活にも影響することがあります。

骨盤底リハビリテーションでは、骨盤底筋を単に「鍛える」だけではありません。超音波（エコー）を使用して骨盤底筋がどのように動いているのか、筋肉の状態を確認・評価します。また、姿勢や呼吸、身体の使い方などについても評価し、症状との関連を考えながら、一人ひとりの状態に合わせたリハビリテーションを行います。

尿漏れや骨盤臓器脱などの症状が強く、日常生活の中で大きな悩み事を抱えている方に、身体の状態を丁寧に評価し、症状や生活背景に合わせた支援を行っております。

当院のリハビリテーションスタッフは、これまで当院で培ってきた知識や技術を活かし、院内での業務に加えて、院外でも骨盤底リハビリテーションを通じた患者さんへの支援に取り組んでおります。また、院外での活動を通じて得られた経験や知識を院内のリハビリテーションに還元し、スタッフ全体の専門性向上にもつなげております。（文責：平藏）





## 医療法人秀友会グループからのお便り

### 石狩市北地域包括支援センター「つながりカフェりんくる」開催！

令和 8 年 8 月 5 日、石狩市総合保健福祉センターりんくるにて、「つながりカフェりんくる」を開催しました。この取り組みは、石狩市社会福祉協議会の「児童・生徒のボランティア体験事業」と、石狩市内の介護保険事業所で取り組んでいる「注文を間違える喫茶店」、そして私たち石狩市北地域包括支援センターとのコラボ事業で、昨年に引き続き 2 回目の開催となりました。

「注文を間違える喫茶店」とは、認知症当事者の方が喫茶店の店員となり、接客を体験いただく企画です。注文を間違えたり、店員であることを忘れても「ま、いっか」と受け入れることで、認知症への理解を深め、温かいコミュニケーションや

社会とのつながりが生まれることを目指しております。

そこに小学 4 年生～中学 3 年生の子どもたちがコラボし、

「つながりカフェりんくる」として、子どもたちと

認知症当事者の方、職員が協働しカフェ店員となり

夏休み期間中に 1 日限定でオープンしました。

また、子どもたちは事前に認知症サポーター養成講座を

受講し、「間違っても OK!」「まわりがサポート!」というコンセプトを共有しました。



カフェには地域の方や館内職員が多数訪れ、大盛況でした。子どもたちや当事者の方がお互いをフォローし合い、楽しんでいる様子がとても微笑ましかったです。

また、子どもたちに実施したアンケートでは「自分にもこんなことができそう!」と具体的な対応についての回答や、おじいちゃん・おばあちゃんとの交流が楽しかったことなど、前向きな回答が見受けられました。

お客さんからは「認知症の方でも活躍できることがわかった」「『認知症』を言葉だけではなく実際に知る機会になり良かった」などの感想も寄せられ、笑顔があふれる交流の場となりました。

今後も認知症の理解が深まり、地域交流の機会が増えたらいいと思います。〈文責：前川〉

## 手稲区第 1 地域包括支援センター スマイルオレンジ 「ていね夏あかり」に参加！

手稲区第 1 地域包括支援センターでは、認知症について「知る・聴く・考える」場所として、スマイルオレンジという活動をしております。認知症のあるご本人、ご家族、地域住民の方やオレンジサポーター（ボランティア）など、様々な方が集まり、認知症のことや日々の生活や趣味などをお話しております。

この度、地域交流の一環として、2026 年 7 月 19 日開催の「ていね夏あかり」に向けて、科学大学の学生の皆さんに教えていただきながら提灯<sup>ちようちん</sup>を作りました。同時に学生の皆さんとの交流もあり、楽しんで取り組むことができました。同イベントでの地域交流や物作りが、参加者の楽しみや達成感につながったと感じております。また、様々な世代の方にスマイルオレンジの活動を知っていただくとても良い機会になりました。

スマイルオレンジは週 1 回開催しており、ご参加にあたりご予約は不要です。開催日時の詳細は「手稲区第 1 地域包括支援センター」のホームページ（下記 URL もしくは QR コードよりアクセス）をご覧ください。また、毎月イベントを企画しており、ご興味があるイベント回のみを選んでご参加いただくことも可能です。認知症のあるご本人と一緒にのご参加やご家族だけでのご参加も可能です。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。〈文責：関〉



### ■「手稲区第 1 地域包括支援センター」ホームページ

【URL】 <https://www.shuyukai.or.jp/houkatsu-teine1/>

【QR コード】



## 医療法人秀友会のご紹介

### ■札幌秀友会病院

〒006-0805

札幌市手稲区新発寒5条6丁目2番1号

TEL 011-685-3333 FAX 011-685-3335

急性期医療から、在宅療養まで。  
脳神経外科を柱とした専門治療と、  
家庭復帰を見据えた支援を提供します。



### ■いしかり脳神経外科クリニック

〒061-3216

石狩市花川北6条1丁目19番地

TEL 0133-71-2333 FAX 0133-71-2335

脳神経外科・脳神経内科の初期診断や  
継続医療を行う無床診療所です。  
穏やかな在宅生活を送れるよう、  
訪問診療にも対応しています。



## 介護施設

### ■介護老人保健施設 愛里苑

〒061-3775

石狩郡当別町ビトエ2200番地1

TEL 0133-26-2874 FAX 0133-26-2832

「高齢者の方々の住み慣れた地域での  
生活を支え抜くこと」を使命に、予防  
から看取りまで、様々な支援を提供し  
ております。



### ■秀友会いしかりデイ・ケアサービス

〒061-3216

狩市花川北6条1丁目19番地

いしかり脳神経外科クリニック

デイケア室

TEL 0133-72-8080 FAX 0133-76-2312

いしかり脳神経外科クリニックの通所リ  
ハビリテーション施設です。レクリエー  
ションや趣味活動を通して心身機能の維  
持・改善をめざします。



## 訪問リハビリテーション・訪問看護

### ■札幌秀友会病院 訪問リハビリテーション

〒006-0805

札幌市手稲区新発寒5条6丁目2番1号

TEL 011-685-3434 FAX 011-685-3533

主治医や医療機関と密接な連携を図り、  
住み慣れた場所で自分らしく暮らせる  
ようサービスを提供します。



### ■訪問看護ステーションふじ

〒063-0834

札幌市西区発寒14条12丁目2番22号

TEL 011-666-2261 FAX 011-666-2271

住み慣れた家で療養できるよう、日常  
生活の看護やリハビリテーションなど、  
生活の質の向上に配慮した、お手伝い  
をいたします。



## 地域包括支援センター。介護保険相談センター等

### ■札幌市手稲区第1地域包括支援センター

〒006-0814

札幌市手稲区前田4条10丁目2-8

タケシンスクエアビル3F

TEL 011-695-8000 FAX 011-695-8855

高齢者の総合相談窓口です。ご相談は  
無料です。認知症や介護保険に関する  
ことなど、生活でお困りのことがあれば  
ご相談ください。（札幌市委託事業）



### ■札幌市手稲区第2地域包括支援センター

〒006-0835

札幌市手稲区曙5条2丁目8番1号

オーロラ手稲1

TEL 011-686-7000 FAX 011-686-6000

高齢者の総合相談窓口です。ご相談は  
無料です。認知症や介護保険のことで  
相談したい、認知症の勉強をしたい、  
高齢者の健康づくりについて知りたい、  
などご相談ください。（札幌市委託事業）



### ■石狩北地域包括支援センター

〒061-3216

石狩市花川北6条1丁目41番地1

石狩市総合保健福祉センターりんくる1階

TEL 0133-75-6100 FAX 0133-75-6161

高齢者の皆さんの暮らしの中で起きる  
介護や福祉、健康、医療などの問題を  
総合的に支える機関です。高齢者虐待、  
消費者被害など、様々な権利に関する  
問題にも対応します。



### ■秀友会介護保険相談センター

〒006-0814

札幌市手稲区前田4条10丁目2-8

タケシンスクエアビル3F

TEL 011-685-6001 FAX 011-685-1123

介護保険の要介護認定を受けた方に  
対し、ご本人・ご家族の悩みや希望に  
寄り添い、自宅での生活を支援するた  
めに居宅介護サービス計画（ケアプラン）  
を作成しサービス調整などを行います。



## 介護予防センター

### ■札幌市西区介護予防センター発寒

〒063-0834

札幌市西区発寒14条12丁目2番22号

TEL 011-666-6855 FAX 011-666-6501

介護予防センターは札幌市の委託事業で、  
高齢者の方々が住み慣れた地域でいつま  
でも暮らせるように、健康管理や介護  
予防に関する相談や支援、転倒予防・  
認知症予防教室を行っています。



医療法人 秀友会